



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

広島県 福山市立精華中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
 オリンピアン自身の様々な経験を通して  
 「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
 この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
 日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピアンはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
 チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
 ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
 オリンピックの価値を生徒に伝え、  
 オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の  
経験に基づく「オリ  
ンピックの価値」等  
を伝える



個人またはグループ  
ワークで話し合った  
内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。



■ **オリンピック**：馬淵 智子 先生 (ソフトボール) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2024年6月19日(水)

■ **ク ラ ス**：2学年合同／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



●北京2008大会にソフトボール競技で出場したと自己紹介。来月からパリ2024大会が開催されるので、今日の授業を通して、オリンピックをより身近に感じてもらいたい。運動の時間の約束事として、スポーツが得意な人も苦手な人も全力で一生懸命取り組むこと、協力すること、メリハリを持って行動することの3つを守ってほしいと伝える。トスバッティングを披露し、代表生徒がボールをキャッチ。その後じゃんけん勝ち抜けを実施し、制限時間内にできるだけ多くの生徒がゴールできるルールで実施。

○主運動等



●準備運動は、ゴムボールを1人1球ずつ持ち、頭上で高く投げて両手でキャッチ、片手でキャッチ、投げてからキャッチするまでに手をできるだけ多く叩くことに挑戦。  
●主運動は「ボールパスリレー」を3チーム対抗で実施(全3回)。2人組でゴムボールをパスしながら走り、折り返しのコーンをタッチし、再度パスしながら戻る。ボールを落とした場合は、1人が取りに行き、その場からやり直すルールで実施。2回目からは同じチームの他の人が取りに行き、よいルールに変更。



●授業冒頭に伝えた約束事を意識してくれたので、ルールを守りながらリレーに全力で取り組み、作戦タイムで積極的に意見交換し、走り方やパス方法に工夫を凝らすことができていた。勝負に対して絶対に負けたくないという気持ちを持つことで、一生懸命取り組むことができる。最初から諦めて消極的な姿勢で臨んでいると、スポーツに限らず何事も楽しむことはできない。座学の時間では、運動の時間での皆の行動とオリンピックバリューの共通点を考えてみよう伝え、授業終了。



■ **オリンピック**：馬淵 智子 先生 (ソフトボール) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2024年6月19日(水)

■ **ク ラ ス**：2学年合同／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



北京2008大会の他国チームは高身長の手がが多く、日本は守備力を武器にして決勝戦で勝利し、金メダルを獲得したと話す。自分を応援してくれる人達に最高の報告をするため、全力を尽くした経験は先生にとってのエクセレンスだ。オリンピックはスポーツを通じて世界平和を実現することを願い創設された大会で、オリンピックシンボルの5つの輪は5大陸団結を表現している。オリンピックバリューの中には卓越、友情、尊重等があり、選手だけでなく誰もが大切にすべき人生の本質的な価値だ。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：今頑張っていること(勉強、部活、習い事、趣味等)をオリンピックバリューに当てはめて考えよう。

発表：各班の代表者1名が発表。(抜粋、順不同)

エクセレンス：「試合を全力で取り組む」「テスト勉強と部活をがんばる」「部活で1ゲーム取れるように頑張る」「全力で遊ぶ」等

フレンドシップ：「合唱で合わせる」「勉強を教え合う」「相手を思いやってパスを出す」「相手について学ぶ」「チームプレイ」等

リスペクト：「協力してチームプレーをする」「人の話を聞く」「声を掛け合う」「先生」「馬淵智子さん」等



今日の授業で、皆が仲間と協力し合って運動に取り組んでいた様子や明るく元気に発表していた様子を見て、沢山の刺激をもらえたと伝える。大変なことを頑張ることだけがすごいわけではなく、中学2年生の今だからこそできることにベストを尽くし、楽しむことも忘れずに充実した学校生活を送ってほしいと伝える。来月から始まるパリ2024大会を観戦する時は、今日学んだオリンピックバリューを思い出し、選手達の頑張る姿から勇気やひらめきを得て、自分の行動につなげようと言え、授業終了。



■集合写真



■記念品贈呈



■修了証贈呈

